

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		令和1年7月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社武蔵野 代表取締役社長 安田信行
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	KES・環境マネジメントシステム・スタンダード ステップ2	
適 用 範 囲	・京都工場における弁当・惣菜及びびめん類の製造に係る、全ての活動 *工場敷地内に常駐する商品開発部門及び事業会社の業務内容には適用外とする。但し、その部門、会社の社員には当工場適用範囲の従業員に準じた活動を周知・実行要請をする。	
導 入 年 月 日	2016年4月1日 [登録 平成28(2016)年10月1日]	
認 証 番 号	KES2-0676	
基 本 方 針	株式会社武蔵野 京都工場は製造に係る全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和と目指します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	* (1)～(4)は基準年度対比原単位での削減目標設定 (1) 電気使用量の削減 (2) ガス使用量の削減 (3) 水使用量の削減 (4) 産業廃棄物発生量の削減 (5) 啓蒙活動&社会貢献	
目標を達成するための取組の内容	(1)～(4)各部署作業手順書による従業員教育。 装置・機器等未使用時のOFF徹底、空調適正温度厳守、作業・清掃時に水の垂れ流しをしない、分別の徹底、原材料・半製品・製品等のロス低減、手直し・作りすぎの抑制 など (5) 工場周辺清掃 各部署参加で毎月1回実施。	
目標を達成するための取組の進捗状況	・計画通り取り組みを継続中。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1) 電気使用量の削減 : 原単位 22.0%削減 (2) ガス使用量の削減 : 原単位 17.7%削減 (3) 水使用量の削減 : 原単位 6.7%削減 (4) 産業廃棄物発生量の削減 : 原単位 24.6%削減 (5) 啓蒙活動&社会貢献 : 毎月実施中	
事業活動に係る法令の遵守の状況	平成29年7、8、9月に水質基準値の逸脱あり。 確認体制を見直し、その後は今年度も正常に推移している。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・評価・見直しの必要性については、原則として年1回検討することになっている。 ・2018年度終盤に増築棟完成。ほぼ2倍の施設、設備規模を勘案し、2019年度目標を見直し設定を行った。 ・但しマネジメントシステムについては、2019年度から全社での取得予定のE A 2 1へ移行準備中。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。